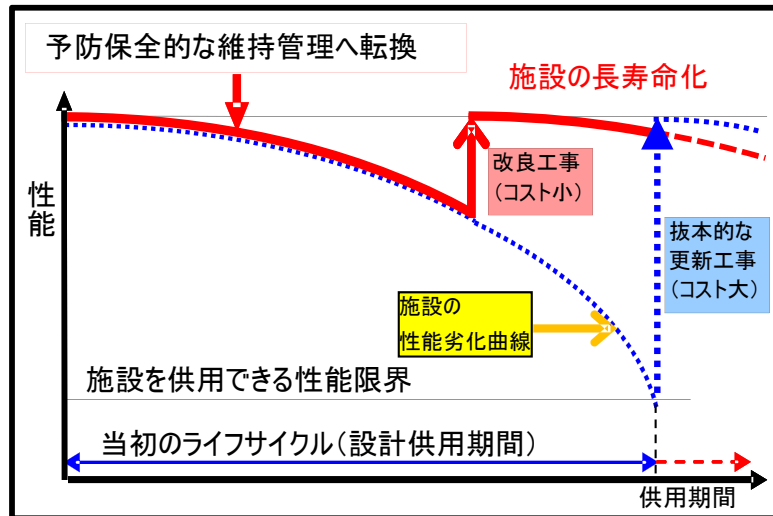


- 今後、老朽化した施設が急激に増加する一方、維持管理、更新・修繕に充当できる財源には限りがある
- このため、これら費用の平準化・縮減を図るべく、予防保全型の維持管理へ転換するとともに、施設のスペックの見直しを通じて効率的なふ頭へ再編するなど、戦略的なストックマネジメントを推進している

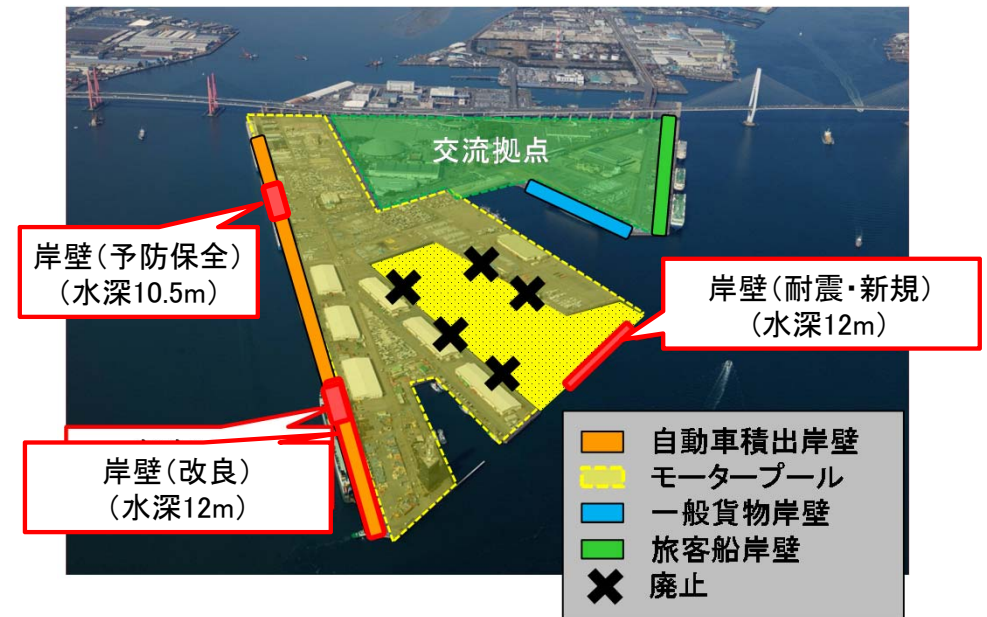
## ① 予防保全型維持管理への転換

施設の老朽化状況、利用状況、優先度等を考慮したうえで、港湾単位で予防保全計画を策定し、これに基づいて計画的かつ効率的に改良工事を行うことにより、全体コストを抑制しつつ、個々の施設の延命化を図る。



## ② 既存ストックを活用したふ頭機能の再編・効率化

残すべき既存ストックを選別するとともに、機能の集約化や必要なスペック見直し等を図ることにより、コンパクトで効率的なふ頭へ再編する。



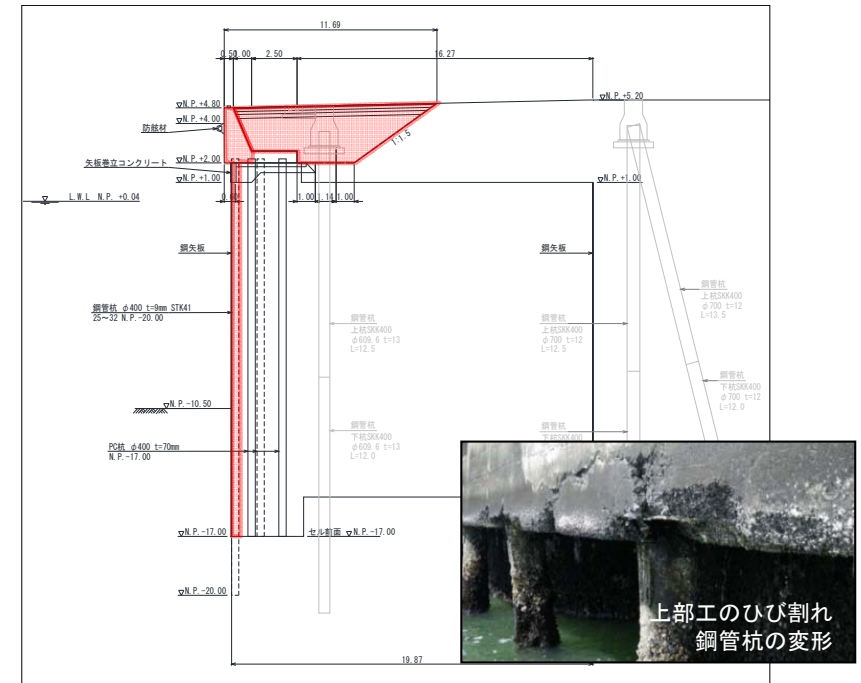
< 既存ストックを賢く使うふ頭再編の事例(名古屋港) >

- 港湾施設の長寿命化のため、平成25年度より計画的に老朽化対策を行っている
- 平成29年度は金城ふ頭地区(79号岸壁)の改良工事を実施し、完了予定

## 予防保全事業予定箇所



## 金城ふ頭79号岸壁(-10.5m)改良



鋼管杭打設状況